



2025 年 11 月 11 日



各 位

会社名 タカラバイオ株式会社
(コード番号 4974 東証プライム)
本社所在地 滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号
代表者 代表取締役社長 宮 村 毅
問合せ先 執行役員広報・IR 部担当 西 脇 紀 孝
TEL (077) 565-6970
URL <https://www.takara-bio.co.jp/>

通期業績予想の修正および配当予想の修正(無配) ならびに役員報酬の一部返上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2025年5月13日に公表した2026年3月期通期業績予想および2026年3月期の期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、役員報酬の一部を自主的に返上することいたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2025 年 5 月 13 日公表)	52,500	2,500	2,500	1,300	10 08
今回発表予想 (B)	42,100	△4,000	△4,400	△9,000	△78 06
増減額 (B - A)	△10,400	△6,500	△6,900	△10,300	—
増減率 (%)	△19.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2025 年 3 月期通期)	45,039	2,263	2,592	1,041	8 65

(2) 修正の理由

当期下半期においても、世界的なライフサイエンス研究市場が引き続き低迷することが見込まれ、さらに、日本においては受託事業の新規案件獲得の未達なども影響し、売上高は前回発表予想を下回る見込みです。人員体制の見直し、研究開発の選択と集中、管理費の削減などに努めるものの、減収の影響が大きく、営業利益および経常利益は前回発表予想を下回る見込みです。また、2025 年 10 月 23 日に公表した特別損失の計上および繰延税金資産の一部取崩しにより、親会社株主に帰属する当期純利益も前回発表予想を下回る見込みです。

なお、今回発表の予想の詳細につきましては、本日公表の「2026 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) 決算短信」の 11 ページの「連結業績予想に関する比較損益計算書」とあわせてご覧ください。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2025年5月13日公表)		17円00銭	17円00銭
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2025年3月期)	0円00銭	17円00銭	17円00銭

(2) 修正の理由

当社は、バイオ産業支援・遺伝子医療の各事業における研究開発活動を積極的に実施していくため、内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施していくことを基本方針としております。具体的には、連結財務諸表における特別損益を加味せずに算出された想定当期純利益の35%を目途として剰余金の配当を行う方針であります。配当金額については、市場評価を意識した経営を進める観点から、通期連結業績実績数値とこれらの方針を総合的に勘案することとしております。

しかしながら、当期は大幅な純損失が見込まれることから、総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら期末配当予想につきましては無配とさせていただきます。

なお、2026年3月期の期末配当につきましては、2026年6月開催予定の第24回定時株主総会に付議する予定であります。

3. 役員報酬の返上

大幅な純損失の計上が見込まれることおよび配当予想を無配とすることを真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、下記のとおり役員報酬の一部を自主的に返上することといたします。

(1) 役員報酬の自主返上の内容

取締役会長、取締役社長	月額報酬の30%
取締役副社長	月額報酬の25%
専務執行役員	月額報酬の20%
常務執行役員	月額報酬の15%
執行役員	月額報酬の10%

(2) 役員報酬返上の期間

2025年11月～2026年3月（5か月分）

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。